

平成29年度
燕市教育行政評価結果報告書



燕市教育委員会



目 次

I. はじめに

1. 点検・評価の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 教育行政評価委員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3. 点検・評価の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

II. 教育委員会の事業一覧

1. 平成29年度に実施した教育委員会の主要事業一覧・・・・・・・・ 3

III 点検・評価の結果

【平成29年度評価対象事業】

1. 「ICT教育推進事業」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
2. 「Good Job つばめ推進事業」・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
3. 「スポーツエキスパート活用事業」・・・・・・・・・・・・ 22
4. 「児童館運営事業」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
5. 「地域子育て支援事業」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
6. 「子育てつばめ〜ル配信事業」・・・・・・・・・・・・ 27
7. 「文化会館自主事業」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
8. 「東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流事業」・・・・ 31
9. 「スポーツ拠点化推進事業」
 - ①「JCY レディースサッカーフェスティバル開催」・・・・ 33
 - ②「アスリート弁当開発事業」・・・・・・・・・・・・ 35
 - ③「ミズノトラッククラブ(MTC)合宿 in 燕」・・・・ 37

【第2次燕市学校教育基本計画】

10. 「第2次燕市学校教育基本計画」・・・・・・・・・・・・ 39

IV 教育委員会の会議及び教育委員の主な活動状況

1. 教育委員会の会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
2. 総合教育会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
3. 教育委員の視察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
4. 教育関係会議への出席・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45

I はじめに

1. 点検・評価の目的

燕市教育委員会では、市民に信頼される公正で透明、簡素で効率的な教育行政の実現を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条の規定に基づき、毎年、主要な施策及び事務事業の取組状況について点検評価を行い、課題を明らかにし、今後の方向性を示しています。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

【燕市教育大綱に掲げる基本方針及び施策】

基本方針 1 地域に根ざした教育の推進・子育て支援

施策 1 知・徳・体を育成する教育の推進

施策 2 安心して産み育てられる子育て支援

基本方針 2 市民が主役の健康づくり・生きがいづくり

施策 1 健全な心と体を支えるスポーツの推進

施策 2 心豊かな生涯学習・文化活動の充実

2. 教育行政評価委員

(敬称略)

氏 名	役 職 等
委員長 永 井 宏	元燕市立燕北中学校長
副委員長 小 林 理恵子	元燕市総合計画審議委員
委 員 高 橋 弥 一	元燕市立燕西小学校 PTA 会長

3. 点検・評価の実施状況

平成 29 年度に実施した全ての予算事業とその上位目標である施策の中から 9 事業 11 項目を教育行政評価委員から選定していただき、評価を行っていただきました。また、第 2 次燕市学校教育基本計画についても、点検及び評価を実施していただきました。

開 催 日	出 席 者	委 員 会 内 容
平成 29 年 11 月 22 日 (水)	委員 2 名 (永井委員長、高橋委員)、学校教育課長、子育て支援課長及び事務局職員 7 名	- 平成 29 年度事業視察 ①病児・病後児保育事業 ②東部学校給食センター建設事業 ③子どもの体力向上サポート事業 (ヘキサスロン)
平成 30 年 5 月 22 日 (火)	委員 3 名、教育次長、教育委員会主幹、学校教育課長、子育て支援課長、社会教育課長及び事務局職員 13 名	- 事業評価作業 - 第 2 次燕市学校教育基本計画の評価作業
平成 30 年 7 月 9 日 (月)	委員 3 名、教育次長、教育委員会主幹、学校教育課長、子育て支援課長、社会教育課長及び事務局職員 13 名	報告書取りまとめ

Ⅱ. 教育委員会の事業一覧

1. 平成29年度に実施した主要事業一覧

課名	No.	事業名	事業の概要
学校教育課	1	Jack & Betty プロジェクト	外国語指導助手（ALT）3名と日本人英語指導助手（JTE）6名を配置し、幼稚園・保育園・こども園から小中学校まで、一貫した外国語教育を行いました。また、Jack & Betty 教室の対象学年を小学校4年生まで引き下げ、次期学習指導要領への移行に向けて、英語力の向上に努めました。 なお、通年の Jack & Betty 教室に加えて、英語スピーチコンテスト、親善大使海外派遣事業、夏休み英会話教室、English Summer Campを実施しました。 また、Jack & Betty 教室において、英語検定受験のための支援を行いました。
	2	特別支援学校就学援助事業	本市在住の盲・聾・特別支援学校の児童生徒の保護者に対して、経済的負担を軽減するため、就学に必要な経費について援助を行いました。 県立月ヶ岡特別支援学校に通学する児童・生徒を対象に、保健・福祉施設障がい者地域生活支援センター「はばたき」から学校までの送迎を行いました。
	3	奨学金貸付事業	教育の機会均等と人材育成を図るため、修学の意欲があり、経済的理由により就学が困難な学生または生徒に対して奨学金の貸与を行いました。【新規貸与者】48人（大学31人、短大3人、専修学校11人、高校3人）
	4	教職員住宅維持管理事業	昭和57年に建築した三王淵教職員住宅の老朽化が進み、改修工事を実施しても、民間賃貸住宅が多数あり、入居者の確保が難しい状況であるため、住宅の解体工事を実施しました。

学校教育課	5	学校教育管理費	教職員用パソコンと校務支援システムにより、教職員の多忙化解消を進め、教育の質の向上を図りました。また、嘱託事務指導員1名を教育委員会に配置し、各校の事務職員への指導を行いました。 校外学習等で使用するマイクロバスの車両整備を行いました。また、購入後21年が経過していたマイクロバス1台をリースへ切り替え、車両の入替を行いました。
	6	地域に根ざす学校応援団事業	学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの健やかな成長や地域全体の教育力向上を目的として、地域コーディネーターとの連携により、学校支援ボランティアによる学校応援団の活動を行いました。 また、地域住民の参加による「放課後等の学習支援活動」にも取り組みました。
	7	【評価対象事業】 ICT教育推進事業	市内の小・中学校に電子黒板等を配備し、子どもたちの学習意欲を引き出すとともに、授業の幅を広げ、分かりやすい授業を展開しました。 また、ICT支援員を配置し、ICT機器（タブレットPC・電子黒板）・ソフトウェアの積極的な活用の支援等を行いました。
	8	燕ジュニア検定事業	児童を対象に、地域の歴史や文化等を楽しく勉強してもらい、ふるさとへの誇りと愛着をもってもらうため、「燕ジュニア検定問題集（平成23年度作成）」を活用し、各小中学校で、燕長善タイム等の時間を利用した学習を行いました。 平成29年度のジュニア検定は、市内の小学生2,771人が受検しました。 また、問題集について、初版から6年が経過し、見直しが必要になったため、問題集検討委員会を3回開催しました。 ※平成30年度より新しい問題集での検定を実施します。
	9	子ども夢づくり事業	子ども夢基金を活用し、小・中学生が全国スポーツ大会に出場の際、遠征費の補助を行いました。 【補助人数及び補助額】 小学生 64人 1,785千円 中学生 36人 1,089千円

学校教育課	10	姉妹都市子ども交流事業	姉妹都市アメリカ合衆国ダンディ村へ中学生4人と引率1人を派遣し、現地でのホームステイや児童生徒との交流などを通じて国際理解教育に努めました。なお、この事業は燕市の中学生派遣とダンディ村からの生徒受入を隔年で実施しています。
	11	長善館学習塾事業	小学校6年生を対象に、ふるさと燕市を愛し、様々な分野において活躍する次世代の人材を育成するため、社会性や生きる力を育むことを目的とした南魚沼での宿泊体験や防災キャンプ等、長善館の精神を活かした体験をする長善館学習塾を開催し、18人が参加しました。
	12	広島平和記念式典派遣事業	非核平和宣言推進事業の一環として、国際的な視野をもって命の尊厳や平和の尊さについて、理解できる生徒を育成するため、各中学校から代表生徒それぞれ1人を、広島平和記念式典に派遣しました。
	13	笑顔で入学支援事業	全小学校15校において入学予定児童のおよそ600人の保護者を対象に講演会を開催し、入学に対する不安解消や心構えなど入学を円滑にするための支援を行いました。
	14	燕キャプテンミーティング	中学校の部活動等のリーダーを育成し、資質の向上を図るため、12月26日から28日まで、講演会の開催やコミュニケーション活動などを実施しました。3日間で延べ292人の中学1・2年生が参加しました。
	15	学校図書館充実事業	計画的に図書を購入し、児童生徒の読書活動の推進や学習環境を整備しました。また、学校図書館管理システムを活用して蔵書管理や児童生徒の読書傾向の把握に努め、蔵書の充実や読書活動の推進を行うとともに、学校図書館司書業務嘱託員を配置し、各学校図書館の運営をサポートしました。
	16	学校・地域連携促進事業	市内の小中学校等を対象に、学校と地域の距離をさらに縮め、学校・地域・保護者が一体となって子どもたちを育む体制づくりをより一層図り、学校と地域の連携を強化するための研修会や講演会等の17件の事業に対して支援を行いました。

学校教育課	17	羽ばたけつばくろ応援事業	若者の主体的な活動を応援し、本市の将来を担う人材を育成することを目的に、夢の実現や社会参画に対する支援を行いました。 平成29年度は、個人の申請が1件、団体の申請が5件でした。 【補助件数及び補助額】 個人：1件 95千円 団体：5件 892千円
	18	スクールソーシャルワーカー派遣事業	不登校をはじめとする問題行動の解決のために、スクールソーシャルワーカーを学校の要請に応じて派遣しました。児童生徒、保護者、校長及び教職員の間を適切につなげ、学校体制がより強固なものになるよう支援しました。また、燕スマイル・サポート・ステーションを開設し、若者への支援を行いました。
	19	つばめキッズファーム事業	小学校15校を対象に、子どもたちが収穫の喜びを体験し、子どもたちを取り巻く農業や食の環境を学ぶとともに、自分の住んでいる地域を知るための農業体験について、補助金を交付しました。
	20	【評価対象事業】 Good Job つばめ推進事業	生徒がふるさとへの愛着や誇りと、自分の将来を設計し、自立して生きていく力を育むため、職場体験の実施日数を5日間とし、キャリア教育の一層の充実を図りました。また、学校から受入事業所までの送迎を行い、生徒が体験できる職場の拡充を図りました。
	21	学校不応・ひきこもり相談事業	小中学校の児童生徒から39歳までの若者を対象に、不登校や引きこもりに関する悩み相談の窓口（燕スマイル・サポート・ステーション）を新設しました。 専門スタッフやソーシャルワーカーを配置し、電話相談や訪問による延べ722件の個別相談に対応しました。
	22	教育指導費	児童・生徒の基礎学力の定着度を把握し、指導方法の改善を図るための学力検査（NRT）や学校生活の満足度検査（Q-U）を実施しました。また、相談業務等の充実を図るため、小学校長経験者を嘱託指導主事として拡充配置しました。

学校教育課	23	学習支援充実事業	小中学校に学習支援員22名を配置し、各学校においてきめ細かな学習指導、特別活動及び生活指導等を行うことにより、児童生徒の健全育成を推進しました。平成29年度は2名増員し、支援の充実を図りました。
	24	別室登校学習支援員配置事業	小池中・燕北中・分水中に別室登校生徒学習支援員を配置し、学校には登校できても教室に入ることのできない生徒に対して、学校と連携しながら個に応じた学習支援を行いました。
	25	小中学校教職員研修事業	教職員としての資質（授業力、生徒指導力、学級経営力等）向上を図るため、各種研修会48講座を主催して実施しました。 平成29年度は、筑波大学等から講師を招聘して、新しい学習指導要領の実施に向けた研修を行いました。
	26	新潟大学教育学部とのパートナーシップ事業	児童生徒の「言葉の力」の育成や、小中学校の連携強化を目指して、最新の専門的理論などの研究に携わる、新潟大学教育学部の教授又は准教授を指導者として招聘し、国語・外国語において、計画的・継続的に指導助言を受けました。 国語7校（燕西小、吉田南小、全中学校）、外国語11校（小学校6校、全中学校）で授業研究を進めました。
	27	中学生学力向上対策プロジェクト	学力向上を図るため、国語担当者会議（年9回）、数学担当者会議（年9回）、数学学力診断問題（年3回）、英語主任研修（年5回）、英語科教員研修（年22回）を実施しました。
	28	教育センター運営費	教育関係職員等の研修などを実施するため、教育センター施設の管理運営を行いました。
	29	適応指導教室事業	不登校の児童生徒に対し、集団生活への適応指導やカウンセリング、学習指導等を行い、学校へ登校できるように支援しました。
	30	言語・発達障がい通級指導教室運営費	言語や発達の特徴に応じて子どもが積極的に学校生活を営むことができるよう、言語通級教室（燕西小・吉田小）・発達障がい通級教室（吉田南小）で専門的な指導を行いました。
	31	視聴覚ライブラリー運営費	DVD、ビデオ等の教材や機材の貸出により、映像を取り入れた教育に関する支援を行いました。

学校教育課	32	子どもを育む推進事業	中学校区単位で「いじめ見逃しゼロスクール集会」を実施し、いじめ見逃しゼロに対する意識の高揚を図りました。 子どもを取り巻く環境の変化に対応するため、学校・家庭・地域の連携による課題解決について協議する場として「燕市子どもを育む推進協議会」を2回開催しました。 家族の絆をテーマにした朗読劇を実施しました。
	33	心の教室相談員派遣事業	中学校5校へ心の教室相談員を派遣し、悩みのある生徒に対する心のケアを行いました。
	34	科学教育推進事業	燕・弥彦科学教育センターと連携し、理数教育を中心とした研修体制を充実・強化することで、児童・生徒、教職員や市民の科学に対する意識向上を図りました。また、教職員に対する研修、児童生徒や市民を対象とした科学に関するイベントを実施しました。
	35	小学校遠距離通学支援事業	遠距離通学児童に対してスクールバスの運行を行うとともに、スクールバスを運行していない地区については、助成金を交付することで、保護者負担の軽減と通学の支援を図りました。
	36	小学校教育振興費	経済的な理由により就学困難な児童の保護者及び、小学校の特別支援学級に在籍している児童の保護者等に対し、小学校でかかる費用の一部を助成しました。 外部施設等に出かけて、見学や体験などの学習するための支援を行いました。 平成29年度からは、新入学学用品費を小学校入学前に支給することとしました。
	37	小学校理科教育等設備整備事業	子どもたちに科学的な知識や技能を習得させるため、国の補助金を活用し理科教育備品を購入しました。
	38	小学校整備事業	燕東小学校や小池小学校の屋上防水等改修工事など、各小学校施設の整備・修繕を行いました。
	39	粟生津小学校大規模改造事業	昭和57年度に建設し、外壁からの雨漏りなど校舎の老朽化が進み、大規模改造工事が必要であるため、設計業務を行いました。 平成30年度は、建設工事を行います。

学校教育課	40	分水小学校設備改修事業	分水小学校の老朽化した消防用設備の改修工事を、平成 28 年度から 3 か年かけて行います。平成 29 年度は防火シャッター等を改修しました。 平成 28 年度は、自動火災報知設備の改修(小学校整備事業で実施)を行い、平成 30 年度は、消火設備の改修を実施する予定です。
	41	吉田北小学校大規模改造事業	昭和57年度に建設し、外壁からの雨漏りなど校舎の老朽化が進んだため、大規模改造工事を実施しました。 (平成28年度：実施設計、平成28・29年度：大規模改造工事)
	42	中学校遠距離通学支援事業	遠距離通学生徒対してスクールバスの運行を行うとともに、スクールバスを運行していない地区については、助成金を交付することで、保護者負担の軽減と通学の支援を図りました。
	43	中学校教育振興費	経済的な理由により就学困難な生徒の保護者及び、中学校の特別支援学級に在籍している生徒の保護者等に対し、中学校でかかる費用の一部を助成しました。 外部施設等に出かけて、見学や体験などの学習するための支援を行いました。 平成29年度から、新入学学用品費を中学校入学前に支給することとしました。
	44	【評価対象事業】 スポーツエキスパート活用事業	中学校の運動部活動に専門的な技術指導力を有する指導者を 8 人派遣し、運動部活動の振興と地域社会との連携を図りました。なお、平成29年度は、指導者を 2 人増員しました。
	45	中学校理科教育等設備整備事業	子どもたちに科学的な知識や技能を習得させるため、国の補助金を活用し理科教育備品を購入しました。
	46	中学校整備事業	燕北中学校における非常階段撤去工事や防犯カメラ設置工事、燕中学校GHP空調機部品取替修繕など、各中学校施設の整備・修繕を行いました。
	47	学校衛生管理費	児童、生徒及び教職員の健康保持のために、各種健康診断や環境衛生検査を実施するなど、保健衛生面からの教育環境の整備、充実を図りました。

学校教育課	48	学校給食運営費	燕地区の小中学生約3,600人に学校給食を提供しました。 ・小学校419,689食、中学校245,883食 ・給食1食（小学校275円、中学校320円） ・年間給食回数（小学校187回、中学校181回）
	49	給食センター管理運営費	吉田・分水地区の小中学生約3,100人に学校給食を提供しました。 ・小学校391,574食、中学校193,319食 ・給食1食（小学校275円、中学校320円） ・年間給食回数（小学校188回、中学校185回）
	50	東部学校給食センター建設事業	学校給食法で定められた最新の衛生管理基準を満たすとともに、アレルギー食に対応した、安全安心な学校給食を提供できる東部学校給食センターを建設しました。東部学校給食センターは、平成30年4月から燕地区の学校給食の提供を開始しました。 （平成27年度：実施設計、平成28・29年度：建設工事）
子育て支援課	50	児童福祉総務費	教育・保育・子育て支援の充実を図ることを目的に策定した「燕市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、施策の進捗状況の点検及び評価を行うため、「燕市子ども・子育て会議」を開催しました。
	51	保育園運営費	次の時代を担う子どもたちが健やかに育つよう、市立保育園17カ所（平成30年3月31日現在、園児数1,606人）と市立こども園2カ所（平成30年3月31日現在、園児数213人）で保育を実施しました。
	52	保育園整備事業	保育環境の改善や安全対策を図るために、三方崎保育園の冷暖房設備改修工事、燕南こども園の駐車場造成工事、吉田北保育園及び栗生津保育園フェンス改修工事などを実施しました。
	53	私立認可保育所経費	市内の私立保育園4カ所（平成30年3月31日現在、園児数368人）で実施する保育事業を委託しました。 また、子ども・子育て支援交付金（国県1/3ずつ）や新潟県特別保育事業補助金（県1/2）を活用するなどし、補助金を交付しました。

子育て支援課	54	保育所広域入所委託事業	家庭の事情や保護者の勤務形態、里帰り出産等の理由により、市内の保育園への通園が困難な児童について、市外の保育園等へ保育を委託しました。
	55	私立認定こども園経費	市内の私立こども園2カ所（平成30年3月31日現在、園児数471人）の施設型給付費及び市外の私立こども園3カ所（平成30年3月31日現在、園児数3人）の施設型給付費を負担しました。 また、子ども・子育て支援交付金（国県1/3ずつ）や新潟県特別保育事業補助金（県1/2）を活用するなどし、補助金を交付しました。
	56	保育環境改善事業	地方創生拠点整備交付金を活用し、大曲八王寺保育園、水道町保育園、小池保育園において、空調未設置保育室の空調設備の整備や子育て支援が行える活動スペースの整備を行いました。
	57	【評価対象事業】 児童館運営事業	遊びを通して児童の健全育成を図り、情操を豊かにするための施設として、また、親子のふれあいの場、交流の場として、7カ所の児童館の運営を行いました（来館者数：157,658人）。
	58	児童研修館運営事業	乳幼児や児童とその保護者を対象に各種教室や体験活動など、地域子育て支援事業を実施し、子どもたちの豊かな感性を育む場として、児童研修館の運営を行いました（来館者数40,955人）。
	59	児童クラブ運営事業	就労等により、昼間保護者が家にいない小学1～6年生の児童を放課後に預かり、適切な遊びと生活の場を提供し、児童の健全育成と保護者の就労支援を推進しました（児童クラブ：17カ所、放課後児童：841人）。
	60	なかまの会管理運営費	異年齢の交流や、安全な居場所の確保のため、5カ所のなかまの会の運営を行いました（利用児童数：延べ40,478人）。
	61	【評価対象事業】 地域子育て支援事業	保育園等に入園していない子育て家庭の育児相談指導と情報提供及び子育ての輪を広げるための事業を市内8施設の子育て支援センターで行い、燕市の子育て支援の充実を図りました。また、第3子以降の赤ちゃん誕生に関する事業で、小学校入学対象者に子育て支援金を支給しました。

子育て支援課	62	ファミリーサポートセンター運営事業	仕事と育児の両立を支援するため、育児の援助を受けたい人と育児の援助を行いたい人が会員組織として相互援助活動を行う、ファミリーサポートセンター事業を、子育て総合支援センター「すくすく」内にアドバイザーを1人配置し実施しました（相互援助活動件数887件）。
	63	病児・病後児保育事業	保護者の就労と子育ての両立を支援するため、病気や病後の子どもで保育園等での集団保育ができず、家庭等での保育も困難な場合において、病児保育室「あおぞら」（たかだ小児科医院併設）で一時的に預かり、看護しながら保育を実施しました（利用児童数778人）。
	64	地域子育て支援講座事業	同年代の子どもを持つ母親同士が子育ての不安や悩みを話し合い、自分に合った子育てを考えることを目的とする「BPプログラム：Baby Program」と「NPプログラム：Nobody Program（完璧な親なんていない）」を実施しました。0歳の子どもを持ち、初めて子育てをする母親を対象とした「BPプログラム」を2講座（各全4回）、1～3歳の子どもを持つ母親を対象とした「NPプログラム」を2講座（各全6回）開催しました。
	65	【評価対象事業】 子育てつばめメール配信事業	子育てつばめメールやすこやか家族応援情報ページにより、相談窓口や支援制度、イベントなど、子育てに関する情報を配信し、子育て支援を行いました（子育てつばめメール登録件数：803件、すこやか家族応援情報ページアクセス数：35,371件）
	66	幼稚園運営費	文部科学省が定めた教育課程やきめ細やかな指導方針に基づいて、市立幼稚園2カ所（平成30年3月31日現在、園児数61人）で幼児教育を実施しました。
	67	幼稚園総務費	市立幼稚園施設2カ所の管理及び浄化槽や暖房機等の修繕を行いました。
社会教育課	68	勤労青少年ホーム管理運営費	勤労青少年ホームの施設の維持管理を行いました。

社会教育課	69.	生涯学習推進費	第2次燕市生涯学習推進計画（平成28年度～平成34年度）における平成29年度の目標値について協議するため、燕市生涯学習推進協議会（1回）を開催しました。 燕市生涯学習サイト「まなびネット」をとおして、市民の主体的な学習活動を支援するため、団体の活動状況、市の生涯学習に関する情報を配信しました。 平成28年10月から利用開始した「生涯学習人材バンク」の利用と講師登録を促進するため、市内公共施設への説明や案内のほか、手続きを簡素化するため、要綱の見直しを行いました。
	70	社会教育総務費	社会教育行政に係る社会教育委員の会議（2回）を開催しました。 また、県内社会教育委員との情報交換・研究協議に係る研究集会等へ参加しました。
	71	成人式事業費	平成30年3月18日（日）、新成人642人（対象者：平成9年4月2日～平成10年4月1日生まれで、市内在住または以前に住んだことがある人等）を燕三条地場産業振興センターに招き、成人式を行いました。（平成28年度新成人705人）
	72	家庭教育推進事業	幼稚園、保育園、こども園・小中学校が主催する家庭教育講演会（28回）の講師謝礼の助成を行いました。また、食育推進事業としてサークルきららとの共催事業により親子食育講座（4回）を開催しました。
	73	中央公民館管理運営費	中央公民館の管理運営を行いました。
	74	地区公民館管理運営費	吉田公民館・分水公民館の管理運営を行いました。 老朽化していた分水公民館の机・イス等を更新し、施設利用者の利便性の向上を図りました。
	75	中央公民館事業	青少年や成人、高齢者などの幅広い年齢層を対象に、パソコン講座（12回）や市民教養講座（ピアノ講座、彫金講座等11講座12コース）、つばめ目耕塾（12回）や燕大学（3回）、さらには、子ども教室（5教室）や風の子くらぶなどの講座を開催しました。

社会教育課	76	地区公民館事業	各地区公民館で利用団体の育成及び発表の場として、文化祭・芸能発表会を行うとともに、吉田公民館では県立吉田病院との共催による健康講座（４回）・子ども教室（５教室）、分水公民館では子ども教室（６教室）を開催しました。
	77	分館管理運営費	中央公民館５分館の施設維持管理や中央公民館の３分館、吉田公民館２分館の指定管理業務委託（小中川公民館は平成29年度より新規）を行いました。
	78	分館事業	中央公民館５分館において、各種教室や文化祭などの地域に密着した事業を行いました。平成29年度より小中川公民館を指定管理としました。（松長：３講座76回、川前：７講座213回、南：２講座58回、藤の曲：１講座20回、東：２講座44回）
	79	市民交流センター管理運営費	燕市社会福祉協議会に施設管理の一部（日直、夜間管理、樹木管理、管内清掃等）を委託しました。
	80	吉田北体育文化センター天井耐震等改修事業	施設の安全な利用と保全・長寿命化、地域の指定避難所機能の強化のため、天井耐震工事等の設計を行いました。
	81	図書館管理運営費	「燕市立図書館」、「吉田図書館」、「分水図書館」の３図書館を一括して指定管理委託を行いました。また、図書館協議会（２回）の開催や燕市立図書館のトイレ洋式化工事の設計等を行いました。
	82	青少年育成センター事業	青少年への街頭補導活動及び社会環境浄化活動等を行いました。また、若者就労支援事業を三条地域若者サポートステーションに委託し、燕市内での出張相談（92件）、職場見学・ジョブトレーニング・各種セミナーなどの業務を行いました。
	83	文化会館管理運営費	文化会館運営審議会（２回）の開催や施設の維持管理を行うとともに、老朽化した消防用設備の修繕工事や屋上消火用補給水槽の取替工事等を行いました。
	84	【評価対象事業】 自主事業	市民へ質の高い舞台芸術を提供するため、小学校合同演劇鑑賞会やミュージカルなど多様な事業を開催しました。また、自主的な文化活動を行う市民団体（２団体）に対して、事業費助成を行いました。

社会教育課	85	吉田ふれあいセンター 管理運営費	施設管理に係る臨時職員賃金、光熱水費、施設維持に関する日直・夜間代行業務、浄化槽維持管理業務委託などの管理業務を行いました。
	86	分水良寛史料館管理運営費	良寛を顕彰して良寛遺墨やゆかりの人物の作品、資料を展示公開しました。 春の特別展「良寛墨宝展」（入館者332人） 夏の企画展「良寛に学ぶ展」（入館者229人） 秋の特別展「良寛墨宝展」（入館者313人） 冬の企画展「良寛と近代の歌人たち」（入館者113人）
	87	長善館史料館管理運営費	長善館を顕彰し、広くその功績を伝えるため、各種展示事業を実施したほか、史料館施設の管理運営を行いました。また、筑波大学と連携し、4カ年事業として、長善館歴代館主の日記解読を行い、長善館史料館に製本した日記を配置し始めました。
	88	文化財保護事業	平成29年度から本実施の「ブラつばめ」事業のため職員を動画研修へ派遣し、動画を制作・公開するなどして、文化財のPRを行いました。また、市指定文化財「木造地藏菩薩坐像」保存修理事業への補助金交付や、国登録有形文化財「燕市旧浄水場配水塔」の修繕工事等を実施しました。
	89	埋蔵文化財事業	市内遺跡の発掘調査（本調査/現場1件、整理1件、試掘確認1件）を実施するとともに、各種工事の立ち会いにより埋蔵文化財を保護しました。また、遺跡出土品展等を開催して（来場者372人）、埋蔵文化財の公開活用に努めました。
	90	文化振興事業	文化団体（文化協会、分水高校、郷土史研究会連合会）に対する活動支援や燕市美術展覧会及び良寛書道展を開催しました。また、「郷土史燕」（400部）、「文芸つばめ」（500部）を刊行し、郷土の歴史風俗の記録とともに、市民の文芸活動の振興に努めました。
	91	体育振興費	燕市体育協会とスポーツ少年団の育成を図るとともに、スポーツ推進審議会の運営や全国大会出場激励金の交付を行いました。また、スポーツ推進委員との連携により、地域スポーツの振興に努めました。

社会教育課	92	生涯スポーツ振興費	燕市体育協会にスポーツ大会やスポーツ教室の委託を行うとともに、健康づくり教室やニュースポーツ等の大会を開催し、市民の健康づくり及び競技力向上に努めました。 また、子どもの体力向上サポート事業（ヘキサスロン）の実施により、子どもの体力向上を図りました。
	93	【評価対象事業】 東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流事業	東京ヤクルトスワローズ球団と縁の深い4都市の交流事業として、第5回東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流大会が松山市で開催され、燕市代表チームを派遣し、初めて優勝しました。 【関係市】 燕市、松山市、浦添市、西都市
	94	ホストタウン推進事業	市民のオリ・パラへの関心を高めるため、オリンピックやトップアスリートによる講演会や講習会を開催しました。 また、「東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー」の巡回展示や「あすチャレスクール」を小中学校3校で行うとともに、モンゴル語の入門講座を3回に渡り開催しました。
	95	サッカー練習場調査研究事業	他県の施設状況等やサッカー場整備に係る特定財源確保の調査研究を行いました。
	96	【評価対象事業】 スポーツ拠点化推進事業	ミズノトラッククラブの合宿（監督・選手等10人）を8月19日から24日までの6日間、三条・燕総合グラウンドにおいて実施しました。8月22日には、小・中学生を対象としたクリニックを開催し、169人の参加を得ました。 女子中・高校生年代選手の活性化と選手のレベルアップ、選手間・指導者間の交流促進などを目的に、日本クラブユースサッカー連盟（JCY）が主催し、燕市が共催した、「JCYレディースサッカーフェスティバル2017」を8月7日から10日までの4日間、吉田ふれあい広場において開催いたしました。（参加数11チーム、平成28年度13チーム） アスリート弁当の開発では、シドニーオリンピック出場の高橋千恵美氏監修のもと、4種類の弁当を開発し、1月28日の燕北多目的武道場オープニングセレモニーに併せて試食会を行いました。

社会教育課	97	体育施設管理運営費	燕市体育センターほか24体育施設の指定管理委託を行いました。 また、直営管理の屋外プール3カ所の施設管理に係る各種保守点検・維持管理業務委託を行いました。 なお、平成29年度はスポーツランド燕屋内運動場・屋外トイレ外装及びトイレ洋式化改修工事設計業務委託、燕市民体育館受変電発電設備等改修工事設計業務委託、吉田テニスコート人工芝張替工事などの主要事業を実施しました。
	98	三条・燕総合グラウンド施設組合管理運営費	三条・燕総合グラウンド（屋外施設の野球場4面、テニスコート9面、陸上競技場）の運営を三条市と共同で行いました。
	99	分水プール改修事業	平成28年度に行った分水プールの50mプール槽防水塗装工事に続き、幼児用プール槽の防水塗装改修工事及びプールサイドの塗装改修工事を行いました。
	100	吉田武道館屋外排水設備等改修事業	吉田武道館の老朽化した排水管を改修し、下水道に接続する配管工事及びトイレの洋式化改修工事を行いました。
	101	スポーツランド燕野球場付帯施設整備事業	スポーツランド燕野球場の老朽化していたダッグアウトの建て替え及びバックネットの張り替えとフラッグポールの新設工事を行いました。
	102	分水プール改修事業	老朽化した分水プールの濾過機及び周辺配管の改修工事と濾過材の入替を行いました。
	103	旧燕工業高校校舎第3棟（空手練習場他）整備事業	旧県立燕工業高等学校第3棟の1階西側部分（659.72㎡）を多目的に使用できる武道場として整備しました。
	104	開放施設管理費	市民のスポーツの場として、市内小中学校の体育館及びナイター設備を含むグラウンドの一般開放及び管理を行いました。

Ⅲ 点検・評価の結果

【平成 29 年度評価対象事業】

平成 29 年度 教育行政評価報告書

＜知・徳・体を育成する教育の推進＞

点検項目	I C T 教育推進事業															
29年度達成目標	I C T 機器を活用した分かりやすい授業を行うため、機器の整備や研修会を開催します。															
目標の達成状況	電子黒板等の機器を年次計画に従い導入するとともに、I C T 機器の活用を推進するため導入校で活用研修を行いました。なお、児童・生徒を対象としたアンケート調査において「I C T 機器を使った授業は分かりやすい」とする回答が 92.7%（前年度 93.3%）でした。															
取組の概要	【研修会の実施】 教育用タブレット型パソコンを活用した防災教育研修 (H29.8.9 会場：燕中) デジタル教材の活用授業に関する研修 (H29.12.6 会場：吉田南小) 【I C T 支援員の配置】 ベネッセの支援員が小・中学校を月 2 回訪問し授業をサポート 市の I C T 支援員 2 名が、I C T 機器の効果的な使用方法や機器の設定をサポート 【学習用 I C T 機器等整備】 ＜平成 29 年度導入＞【年次計画】 <table><tr><th>名 称</th><th>台 数</th><th>導入校</th></tr><tr><td>電子黒板</td><td>35 台</td><td rowspan="2">燕南小、粟生津小、分水北小、 燕北中</td></tr><tr><td>書画カメラ</td><td>12 台</td></tr><tr><td>教材提示用タブレット型パソコン、キーボード</td><td>160 台</td><td rowspan="2">燕東小、燕西小、燕南小、燕北小、小池小、大関小、小中川小、松長小、粟生津小、吉田北小、分水北小、分水小、島上小、燕中、小池中、燕北中、分水中</td></tr><tr><td>関連ソフトウェア (office、ウイルス対策他)</td><td>160 台</td></tr></table>			名 称	台 数	導入校	電子黒板	35 台	燕南小、粟生津小、分水北小、 燕北中	書画カメラ	12 台	教材提示用タブレット型パソコン、キーボード	160 台	燕東小、燕西小、燕南小、燕北小、小池小、大関小、小中川小、松長小、粟生津小、吉田北小、分水北小、分水小、島上小、燕中、小池中、燕北中、分水中	関連ソフトウェア (office、ウイルス対策他)	160 台
名 称	台 数	導入校														
電子黒板	35 台	燕南小、粟生津小、分水北小、 燕北中														
書画カメラ	12 台															
教材提示用タブレット型パソコン、キーボード	160 台	燕東小、燕西小、燕南小、燕北小、小池小、大関小、小中川小、松長小、粟生津小、吉田北小、分水北小、分水小、島上小、燕中、小池中、燕北中、分水中														
関連ソフトウェア (office、ウイルス対策他)	160 台															
自己評価	平成 28 年度の普通教室の無線 LAN 工事、教育用タブレット型パソコンの導入に続き、平成 29 年度は電子黒板を小学校 3 校、中学															

	校 1 校に導入することができました。また、ICT 機器を活用した授業を行うための環境を整えることにより、児童・生徒にとってより分かりやすい授業を行うことができました。
評価委員の評価	児童生徒が授業を理解するうえで、ICT 機器を活用した授業は有効であり、継続して進めていただきたい。 一方で、プログラミング教育が今後どのように進むのか、教育委員会として方向性を示す必要があると思います。また、授業に ICT 機器を活用するためには人的サポートが大事なので、引き続き対応願いたい。
今後の方向性	ICT 機器の更新を計画的に行うことに加えて、教職員を対象とした研修会の開催、ICT 支援員やベネッセの支援員の派遣などの人的サポートを行いながら、ICT 機器を活用した教育を進めていきます。 また、プログラミング教育への対応については、ICT 教育推進協議会専門委員会やモデル校での模擬授業を通じて、プログラミング教育に必要なノウハウの収集について検討を進めます。

【所管：学校教育課】

<知・徳・体を育成する教育の推進>

点検項目	Good Job つばめ推進事業
29年度達成目標	各中学校が実施する職場体験の実施日数が平成 28 年度は実施初年度であり、1 校当たり平均 3.6 日でしたが、平成 29 年度は全ての中学校で 5 日間実施します。また、中学生の全国学力・学習状況調査の項目「将来の夢や希望を持っていますか」で、肯定的評価（「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」）をした生徒の割合を 75 パーセント以上となるようにします。
目標の達成状況	平成 29 年度は全中学校で職場体験の実施日数は5日間でした。 また、中学生の全国学力・学習状況調査の項目「将来の夢や希望を持っていますか」で、肯定的評価をした生徒の割合は 72.1 パーセントで目標を下回りました。
取組の概要	家庭や地域、産業界と連携して中学校の職場体験活動の充実を図り、キャリア教育を推進することで、ふるさとへの愛着と誇りを醸成し、自分の将来を切り拓き自立して生きていく力を育成します。
自己評価	市内中学校 5 校の職場体験の実施日数は、平成 27 年度は 1 校当たり平均 1.6 日でしたが、平成 28 年度は 1 校当たり平均 3.6 日、平成 29 年度は全ての中学校で 5 日実施しました。 平成 29 年度は、この事業で、中学校 1・2 年生の生徒 1,389 名が職場体験を経験しました。なお、協力いただいた受入れ事業所数は、延べ 581 事業所でした。 職場体験後に実施したアンケートでは、「働くことの喜びや楽しさを感じることができた」と回答した生徒の割合は 97.7%に達しました。ある事業所からは、「一日ごとに接客の仕方が変わり、積極的に活動する様子が見られた」と生徒の成長ぶりを評価していただきました。さらに、保護者の方からは「職場体験をきっかけに、働くことについて家族で話をする機会ができてよかった」という感想もお聞きました。 受入れ事業所の確保の面からは、「Good Job 実行委員会」の協力により、受入れ事業所数の増加、事業所に関わるデータ整理が効率的に行われました。なお、これまでの取組により実行委員会が、平成 30 年 1 月に文部科学大臣表彰を受けました。 今後とも生徒の夢の実現に向けて、しっかりと支援していきます。
評価委員の評価	以前は、家で親が仕事をしており、子どもは親の働く姿を見ていたが、今は、働いている姿を目にする機会が少ない現状です。

	燕市の人口が減少していることも考慮すると、この事業は、地元の産業について知り、体験をとおして本市の良さを感じ取ることができる良い取組であると考えます。そして、未来を見据えて、地元で誇りをもてる子どもたちにしていきたいと思います。 中学生を受け入れてくださる事業所を開拓することは、学校にとって、とても難しいことと思います。商工会議所・商工会や行政が、協力して、この事業に取り組んでいることに価値があるものと考えます。
今後の方向性	今後も、全ての中学校で5日間の職場体験を行うことができるよう、燕市及び近隣の事業所に、引き続き協力を呼びかけるとともに、一方では、事業者が不安なく生徒を受け入れることができるよう、事業所向け説明会や事業所への訪問を実施していきます。 本事業の趣旨や受け入れの際の留意点等を理解いただくとともに、事業所の意見・要望を取り入れることを通して、受け入れ事業所が拡大するように努めます。 市内中学校1・2年生の生徒全員の受け入れ先を確保するために、事業を推進する組織の構築と活動中の安全確保のための交通手段等の確保にも取り組めます。 職場体験だけでなく、職業講話やマナー講習会などの事前学習や職場体験活動成果発表会などの事後学習を、2年間を見通して計画的に行うことで、一人一人にとって深い学びになるよう、引き続き事業の改善を図っていきます。

【所管：学校教育課】

＜知・徳・体を育成する教育の推進＞

点検項目	スポーツエキスパート活用事業
29年度達成目標	文部科学省の推し進める「チーム学校」の理念に基づき、全ての中学校に外部指導者の派遣について希望調査を行い、外部指導者を派遣します。担当教諭の部活動指導の負担軽減と部活動における指導体制の強化を目標とします。
目標の達成状況	学校からの9名の要望に対して県から8名の採択を受けることができ、スポーツエキスパートによる専門的な指導体制が図れました。
取組の概要	【派遣回数・派遣時間】 外部指導者1人の派遣回数は年間30回以内、1回の指導時間は2時間程度。 【対象期間】 平成29年5月1日から平成30年2月15日まで 【指導方法】 外部指導者は、派遣先の中学校の教育方針に従い、運動部活動顧問と協力し技術指導にあたります。 【平成29年度派遣実績】 小池中学校（剣道）、燕北中学校（陸上競技）、燕中学校（バスケットボール、体操競技、バトミントン、剣道）分水中学校（卓球、バスケットボール）
自己評価	部活動の外部指導者（スポーツエキスパート）として、平成28年度の6名を上回る8名を中学校に派遣することができ、競技経験の浅い教職員に対して部活動指導に係る負担軽減と、生徒の競技力の向上を図ることができました。
評価委員の評価	部活動を行う生徒にとって、部活動の外部指導者（スポーツエキスパート）が指導することにより、部活動に対してモチベーションが上がり、さらに部活動の指導者の負担軽減もあり有効な事業と思います。予算の関係もあるが、派遣人数を増やして対応いただきたい。 また、ヨーロッパのクラブ型のようにエキスパートではないが、顧問に代わり生徒の面倒を見てくれる人材の活用も必要と思うので、今後検討願いたい。

今後の方向性	平成 30 年度には、国や県の方針を受け、「今後の部活動をあり方」を協議するため、検討委員会を組織し、部活動を行うためのガイドラインについて検討を進めます。 また、引き続き「スポーツエキスパート活用事業」を継続して実施し、顧問と協力して生徒を指導する人員を配置するなど、生徒が部活動に取り組むための環境整備に努めます。
---------------	---

【所管：学校教育課】

<安心して産み育てられる子育て支援>

点検項目	児童館運営事業
29年度達成目標	児童の健全育成を図るため、各種体験教室や体験活動を企画・実施し、放課後の児童健全育成の拠点として事業を行います。 数値目標：8児童館・児童センターの年間利用者 198,000人
目標の達成状況	0歳から18歳までの乳幼児、児童・生徒とその保護者などの年間利用者は198,613人となり、目標に対する達成比は100.3%となりました。
取組の概要	・各種事業の開催 ・学生ボランティアの受入れ【15人】〈H31年度目標 20人〉 ・高齢者等との交流事業【51回】〈H31年度目標 80回〉 ・中学生、高校生と赤ちゃんとのふれあい事業【71人】〈目標値なし〉 ・中学生、高校生のボランティア育成【69人】〈目標値なし〉 など
自己評価	年間利用者目標は達成できましたが、平成28年度に比べると872人減少しており、魅力あるイベントや行事を工夫する必要があります。また、イベント・行事の情報等のPRの強化が課題です。
評価委員の評価	児童館・児童センターは、昔は放課後の居場所でしたが、今は地域で子育てを応援する核となる場所に変わっていると思います。 燕地区は、概ね小学校区に児童館が設置されているので、放課後など自転車や徒歩で行けるが、吉田地区や分水地区には、児童館が各1カ所となっていることから、児童だけで行けないので、地区単位のバランスはどうなのかと思います。 児童館は入館数が将来少なくなっていくとしても、必要な施設であると思います。
今後の方向性	児童館・児童センターの利用者層のほぼ半分は、保育園就園前の乳幼児とその保護者となっています。このことから、今以上に地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図りたいと思います。 児童館を新たに設置することは様々な問題もあり、難しいと思われるが、現状の規模を維持し継続していく中で他の類似施設を活用するなど、地区バランスについても考えて行きたいと思います。

【所管：子育て支援課】

<安心して産み育てられる子育て支援>

点検項目	地域子育て支援事業
29年度達成目標	子育て家庭の孤立化を防ぎ、安心して子育てをするための支援を行うため、重要な役割を担う地域の子育て支援センターが、交流・遊びスペースの提供や子育てに関する情報の提供、子育てへの不安や悩み相談への支援を行います。 数値目標：①子育て支援センター利用者数 53,414 人 (積算根拠：平成 26 年度～平成 28 年度の 3 年間の平均利用者数) ②相談件数 2,685 件 (積算根拠：平成 29 年度利用保護者数の 10%)
目標の達成状況	子育て家庭の交流促進や育児相談等を実施し、子育てに伴う孤立感・負担感の軽減を図りました。また、子育て関連情報の提供や子育てに関する講座等を実施しました。 実績：①子育て支援センター利用者数 57,599 人 ②相談件数 3,179 件
取組の概要	各子育て支援センターにおいて、子育て家庭の育児不安に対する相談、交流・遊びスペースの提供や子育てに関する情報の提供、子育てに関する各種講座・イベント等の実施を行いました。また、市のホームページや子育てつばメールにおいて各種講座やイベント等の情報を発信し周知に努めました。 <各種講座・イベント等の例> ○燕こども園子育て支援センター（平成 28 年度開設） 発育測定、誕生会、救急法等を計 48 回実施 ○燕市子育て総合支援センター「すくすく」（平成 27 年度開設） おんがくあそび、食育講座、運動会等を計 67 回実施
自己評価	平成 29 年度は、施設利用者数、相談件数とも目標値を上回りました。子育て中の親子へ、交流、育児相談、情報提供等の支援をすることで、親子のつどいの場、子どもたちの楽しい遊び場としての役割を果たすことができました。
評価委員の評価	最近では、新しい公立保育園（こども園）が開設されると必ず子育て支援センターが併設されています。 働く母親に合わせて相談受付時間を長くしてほしい。

	母親達は子育て支援センターのイベント情報をチェックして日ごとに行き先を変えています。1 人に伝わるとそのネットワークによりどんどん横に広がっていきます。情報発信が大切です。 人口増につながる事業ではないかと期待しています。 開設時間を行きやすい時間にするなど柔軟な対応をお願いしたい。また、メール配信やポスター等によりPRをお願いしたい。
今後の方向性	相談が受付時間を過ぎてからであっても職員の勤務時間内であれば相談に応じているので今後も柔軟に対応していきます。 情報発信については、子育てつばめ〜ルの活用を継続するとともに、ポスターの設置を子育て支援センター・保育園以外の公共施設やスーパー等へ増やしていきたいと思います。

【所管：子育て支援課】

<安心して産み育てられる子育て支援>

点検項目	子育てつばめ〜ル配信事業
29年度達成目標	妊娠中の方や子育て中の方を対象とした「子育てつばめ〜ル」を運営し、子育て情報発信の充実を図ります。 数値目標：登録者数 734人
目標の達成状況	「子育てつばめ〜ル」の登録者数は803人で目標を達成できましたが、そこからホームページへの誘導がうまくできませんでした。
取組の概要	相談窓口や支援制度、イベントなどの子育てに役立つ情報を、アドレス登録した保護者の携帯電話やスマートフォンにタイムリーに配信することにより、妊娠中あるいは子育て中の方々を応援し、市の子育て等に関する事業や施設などを有効に活用してもらうもの。 【事業開始時期】 平成24年4月1日 【配信方法】 ①自動配信 出産予定日や子どもの生年月日を登録することで、月齢や年齢に合わせた情報を配信します。(母親学級、育児相談、予防接種、保育園情報、児童クラブ案内、就学援助など) ②手動配信 児童館や子育て支援センター、図書館などの最新のイベント情報などを、月8回程度配信します。 【周知方法】 ①母子手帳交付申請時に登録のお知らせを案内 ②市内の子育て支援施設にチラシ(カード)設置 ③イベント開催時に登録窓口開設 ④BSNデータ放送で登録呼びかけ
自己評価	年間登録者数は目標を達成できましたが、イベントでの登録呼びかけが有効であったかどうか、もう少し効率的な方法がないかを検討したいと思います。また、発信内容の充実とホームページへの誘導を図るため、情報を収集する仕組みを強化するとともに、更新頻度の見直しを図る必要があります。そのため、平成30年度は離乳食の紹介や月齢に合った遊びの紹介に重点を置きたいと思います。

評価委員の評価	たくさんの人に一気に登録してもらうのは難しいです。情報は、口コミやSNSで広がるので、焦らずに取り組んでいただきたい。 必要な情報は、子育ての当事者であっても、人それぞれ違います。どんな情報が必要かリサーチするよりも、まずは情報を発信して、利用者の反応を見ることも大切だと思います。 もし、双方向でやり取りができるのであれば、子育て中の方に意見を求めているのもよいと思います。 良い取り組みであるので、これからも、ぜひ継続してほしいです。
今後の方向性	『子育てつばめ〜ル』については、まずは存在を知ってもらうことが重要であるため、広報紙に QR コードを掲載したり、市役所の転入手続きの窓口カードを設置したりするなどして、周知を図ります。 また、発信する情報量を増やすため、市役所の各部署に『子育てつばめ〜ル』の活用を呼びかけて情報収集を行うとともに、子育て中の方々のニーズを把握し、サービスの向上に努めます。 ※市民課窓口には、平成 30 年 5 月中にカード設置済

【所管：子育て支援課】

<心豊かな生涯学習・文化活動の充実>

点検項目	文化会館自主事業
29年度達成目標	市民のニーズに対応し優れたアーティストによる舞台芸術作品の提供や、市民芸術・文化活動の場を提供することで、芸術文化の向上を図ります。
目標の達成状況	自主事業の満足度（アンケートから 2/3 以上の良い、非常に良いの割合） 目標：67% 実績 78%
取組の概要	① 市内小学校合同演劇鑑賞会の実施（5 日間 9 ステージ） ② 落語、春風亭昇太独演会 ③ お笑いライブスペシャル in 燕 ④ N 響メンバーによる弦楽四重奏 ⑤ ファミリーミュージカル眠れる森の美女 ⑥ つばめ音楽文化祭（洋楽、邦楽部門） ⑦ つばめ音楽文化祭（ロック&フォークフェスタ）
自己評価	目標としていたアンケートの満足度は達成しているが、催しごとの満足度に 66%～87%とバラつきがあります。
評価委員の評価	市民に対しては、広報等でお知らせしていると思うが、興味の無いものについては目に入らないです。PRについて工夫すれば、もっと入館者が増えるのではないかと思います。 そもそも満足度の目標が 67%でいいのでしょうか。需要の少ない事業はやらなくていいとは言えないし、ただ人を集められる著名人だけと呼ばばいいということにはならないと思うので、そのところで痛し痒しの部分もあると思います。市場のニーズをしっかりと把握して企画していただきたい。
今後の方向性	広報・チラシ・ポスター等のお決まりのものだけでなく、地元メディアやフリーペーパー等に記事として取り上げていただき、周知に努めながら入館者増を目指します。 燕市文化会館のような中規模の会館でも開催ができて、より多くの方々から喜んで観賞していただけるような企画をしたいと思います。 満足度の目標は今後検証し、67%でいいのか、文化会館運営審議会等にも諮っていきたいと思います。実施事業の内容については、

	文化会館運営審議会等の意見やアンケート結果を参考に、市民ニーズにあった集客できる事業を企画し、観客誘導率 75%を目指します。
--	---

【所管：社会教育課】

<健全な心と体を支えるスポーツの推進>

点検項目	東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流事業										
29年度達成目標	東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流大会は、東京ヤクルトスワローズとのつながり（キャンプ地・スポンサー連携事業）をきっかけとした自治体間において野球を通じた交流、連携を図ることで小学生のスポーツ振興と相互の交流を深めることを目的としています。大会については、平成 29 年度は第 5 回を迎え開催も 2 巡目となり、本市から提供した優勝カップの奪還を目指します。交流に関しては、普段接することのない遠方の自治体間の子どもたちが様々な文化等に触れる機会として大会運営のメニューに盛り込むことで、相互の応援・交流人口増を目指します。										
目標の達成状況	燕市代表チームの順位 <table border="1"> <tr> <td>第 1 回（愛媛県松山市）</td><td>2 位</td></tr> <tr> <td>第 2 回（燕市）</td><td>3 位</td></tr> <tr> <td>第 3 回（沖縄県浦添市）</td><td>3 位</td></tr> <tr> <td>第 4 回（宮崎県西都市）</td><td>2 位</td></tr> <tr> <td>第 5 回（愛媛県松山市）</td><td>1 位</td></tr> </table> 交流事業について 第 1 回 秋季キャンプ見学 レセプション 観光（愛媛県松山市） 第 2 回 野球教室 レセプション 研磨体験 大河津資料館見学（燕市） 第 3 回 レセプション サング苗付体験 観光（沖縄県浦添市） 第 4 回 レセプション 農家民泊 勾玉作り（宮崎県西都市） 交流事業を開始した平成 25 年度からはスポーツ少年団加盟人数が年々増加しています。 （平成 25 年度 206 人、平成 29 年度 233 人）	第 1 回（愛媛県松山市）	2 位	第 2 回（燕市）	3 位	第 3 回（沖縄県浦添市）	3 位	第 4 回（宮崎県西都市）	2 位	第 5 回（愛媛県松山市）	1 位
第 1 回（愛媛県松山市）	2 位										
第 2 回（燕市）	3 位										
第 3 回（沖縄県浦添市）	3 位										
第 4 回（宮崎県西都市）	2 位										
第 5 回（愛媛県松山市）	1 位										
取組の概要	本市では代表チーム決定について市内スポーツ少年団との連携により予選会を開催し、代表チームを選出しています。また技術向上のためヤクルトスワローズとの連携メリットを生かし、ヤクルト球団協力のもと平成 23 年よりヤクルトスワローズ OB 野球教室、平成 25 年と 27 年からは毎年現役選手による野球教室を開催しています。交流事業については、大会ごとに特産品をレセプションでそ										

	それぞれの自治体で持ち寄り PR することで相互に交流を深めるとともに、子どもたちの交流の時間や地場の文化等を体験する機会を盛り込んでいます。前回大会では本市の地場産業である金属加工体験（研磨）とつばめの成り立ちのルーツである大河津分水路に関して資料館の見学を盛り込みました。
自己評価	第5回大会は予選会からハイレベルな試合となり、本大会では初優勝を飾ることとなりました。交流事業に関しても開催地が設定したメニュー（野外活動センターでのカレー作りや競輪体験、キャンプ見学など）により参加した子どもたちが他市の選手と一緒に体験することで交流が深まりました。
評価委員の評価	スポーツに関わる子どもの割合の維持のためのみならず、交流事業として、小学生のころから普段接することのない西日本の文化に触れることは貴重な機会なので、継続していただきたい。
今後の方向性	今年度第6回大会は燕市での開催として、試合後は燕の文化体験を盛り込んだ大会運営を目指します。来年度以降も各市の担当者と運営や交流事業の内容、今後の継続について協議していきたいと思っています。

【所管：社会教育課】

<健全な心と体を支えるスポーツの推進>

点検項目	スポーツ拠点化推進事業 (JCY レディースサッカーフェスティバル開催)
29年度達成目標	JCY レディースサッカーフェスティバルを開催することにより、レベルの高いゲームを間近で見ることで、サッカーへの関心を更に高めるとともに、青少年の競技力向上、サッカー人口の増、トップアスリートの育成に繋がります。 全国や県内の応援者や観戦者が燕市に訪れることで、交流・応援人口の増加を目指します。
目標の達成状況	JCY レディースサッカーフェスティバルを開催し、県内外から 11 チームが参加。燕市出身の選手も 2 名参加しました。(目標 3 名に対し 2 名)
取組の概要	大会は、日本クラブユースサッカー連盟がクラブチームにおける女子中・高校生年代の活性化を目指し、女子選手の加入や女子チームの保有、新規立ち上げ並びに選手のレベルアップ、選手間および指導者間の交流を促進する趣旨に燕市も賛同し、U-15 (中学生)、U-18 (高校生) の大会をフェスティバル形式で開催しました。 平成 29 年度は、8 月 7 日～8 月 10 日までの 4 日間、燕市吉田ふれあい広場において開催しました。
自己評価	参加チームは平成 28 年度と比べ 2 チーム減少したものの、県内外から 11 チームの女子ユース世代の選手が参加し、各自のレベルアップや、選手間・指導者間の交流促進を図ることができました。 燕市出身の選手も 2 名が参加し、レベルの高いチームと対戦することで競技力向上に繋がりました。
評価委員の評価	女子生徒は、中・高校生になった自分をイメージできずに小学校でやめてしまう子が多いと思うので、中学・高校になってもできるということが間近で見られるのは良いと思います。 女子サッカーの振興、サッカーへの関心向上のため小学生・中学生に周知願いたい。 大会が継続して開催できるよう、他市の大会より優れている点を見出し、そこに力を注いでいただきたい。

今後の方向性	女子サッカーの数少ない大会と思われることから、本市において引きつづき開催されるよう働きかけていきたいと思います。その際は、ホームページやチラシ配布などで情報発信することにより周知を図っていきます。
--------	---

【所管：社会教育課】

<健全な心と体を支えるスポーツの推進>

点検項目	スポーツ拠点化推進事業（アスリート弁当開発事業）
29年度達成目標	スポーツ大会やイベントに参加するスポーツ選手などのパフォーマンスを上げるため、栄養バランスのとれた弁当を選手に提供し、地場産食材を活用するとともに、市内飲食業者が弁当を提供することで地域内経済循環を図ります。また、オリパラ等経済界協議会に協力してもらい協議会に参加している食品会社の職員によるスポーツ指導者、保護者向けの食育講演会（教室）を実施します。
目標の達成状況	燕市体育協会・ミズノグループ（当時）と委託契約を締結し、オリンピック初の管理栄養士高橋千恵美さん監修による「つばめアスリート弁当」を4種類開発しました。食育講演会は、オリパラ等経済界協議会との調整がつかず未開催となりました。
取組の概要	地場産食材を活用した「アスリート弁当」を開発し、スポーツ選手やスポーツ愛好者に必要な栄養バランスのとれた弁当を提供できるようにしました。 ・スポーツ愛好者に必要な栄養バランスを考慮し、できる限り地場産食材を使用した「つばめアスリート弁当」メニューを開発。 ・試食会の開催と試食アンケートの実施。 ・「つばめアスリート弁当」の調理等を行う調理協力店を募集。 ・平成30年度からの販売に向けた各種団体へのPR。
自己評価	その日の体調や好みに合わせて選択できるよう、「スタミナアップ」「エネルギーチャージ」「疲労回復」「コンディショニング」の4種類の弁当メニューを開発しました。 公募により調理協力店に1社が決定しました。
評価委員の評価	アスリート以外で体を鍛えている人などにも周知が必要です。 選手はだいたい自分で弁当を用意してくるので、イベントの際に販売するなどして、買ってくれるような仕掛けが必要であると思います。 売り出し大サービスのようなPRの工夫やアスリート弁当の価値のPRが必要であると思います。

今後の方向性	食育講座を開催し、家庭でもアスリートなどを「食」の面でサポートしていきたいと思います。 また、さまざまなイベントや団体が集まる場において幅広くアスリート弁当の魅力をPRしていきます。
---------------	---

【所管：社会教育課】

<健全な心と体を支えるスポーツの推進>

点検項目	スポーツ拠点化推進事業 (ミズノトラッククラブ(MTC)合宿 in 燕)
29年度達成目標	ミズノトラッククラブの合宿を行うことにより、市民のスポーツに対する関心を高め、スポーツに触れる機会を増やし、スポーツ振興を図ります。また、ミズノビクトリークリニック（陸上教室）を行うことにより、市内の小学生、中学生にスポーツの楽しさを教えてもらい、市内の陸上競技のレベルアップを目指します。
目標の達成状況	燕市体育協会・ミズノグループ（当時）と委託契約を締結し、ミズノトラッククラブの合宿を実施することができました。また、合宿期間中にミズノビクトリークリニックを行い、小学生 106 名、中学生 63 名が参加しました。
取組の概要	平成 26 年度から市内 25 の体育施設を燕市体育協会・ミズノグループに指定管理者として委託し、その縁でミズノから多くのオリンピックを招聘してきました。ミズノトラッククラブの監督には、中学生を対象としたキャプテンミーティングの講師を派遣してもらったことにより縁ができ、ミズノトラッククラブの合宿が行われました。合宿は 8 月 19 日から 24 日まで行われ、メンバーには、19 日にカトラリー説明、21 日に市表敬訪問、22 日にビクトリークリニックを実施しました。
自己評価	合宿には監督やコーチ、トレーナーを含め総勢 10 名が来燕しました。ミズノトラッククラブメンバーが一堂に会する機会は滅多になく、とても貴重な事業を行うことができました。 また、ビクトリークリニックでは、怪我をする参加者もいなく、無事に行うことができました。内容面では、小中学生に走ることの楽しさや、技術向上のためのコツなどを教わることができ、子どもたちにとっても貴重な経験になりました。
評価委員の評価	子どもたちにとってすぐそこにオリンピックでメダルを取った選手がいて教えてもらえるというワクワクする事業なので今後も続けていただけたらよいと思います。 子どもたちや一般市民にとって夢やあこがれだったものが、具体的に目標にしようというきっかけを作るような事業であると思います。

	燕はこういう人が呼べるような工夫をしているということが知られてきていると思うので継続し、子どもや市民に夢が身近なものになっていくということを体感してほしい。
今後の方向性	ミズノトラッククラブの選手の練習を見学したり、ミズノビクトリークリニックに参加したりしたことは、市民のスポーツに対する関心を高め、子どもたちにとって貴重な経験になったと考えられることから、今後も継続できるよう協議していきたい。

【所管：社会教育課】

第2次燕市学校教育基本計画の評価

～平成29年度の指標について～

目標1:「ふるさと燕」への愛着や誇りとグローバル社会を生き抜く力を育みます

＜目標の達成状況＞

○全国平均より高い ▼全国平均より低い

指標項目	出所	対象	基準値	H28	H29	H29 全国平均	中間目標値	目標値
			H27				H31	H34
「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	80.4%	○ 78.9%	○ 73.0%	62.6%	<83%>	<85%>
		中学3年生	33.7%	▼ 44.3%	○ 43.5%	42.1%	<35%>	<40%>
「将来の夢や目標を持っている」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	86.2%	▼ 84.2%	▼ 84.6%	85.9%	<90%>	<90%>
		中学3年生	71.5%	○ 72.1%	○ 72.1%	70.5%	<75%>	<80%>
全国学力・学習状況調査で全国平均以上の教科数 ※ 国語A・B、算数・数学A・Bの全8教科	全国学力・学習状況調査	小学6年生	4教科	4教科	3教科		<4教科>	<4教科>
		中学3年生	2教科	4教科	3教科		<4教科>	<4教科>
標準学力検査偏差値平均50以上の中学1年生から3年生の教科の数(国語・数学・英語) ※中学1年生の英語を除く全8教科	全国標準学力調査(NRT)	中学1年生	2教科	2教科	2教科		<2教科>	<2教科>
		中学2年生	3教科	2教科	3教科		<3教科>	<3教科>
		中学3年生	1教科	3教科	2教科		<3教科>	<3教科>
「朝食を毎日食べている」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	97.7%	○ 96.4%	○ 95.9%	95.4%	<100%>	<100%>
		中学3年生	93.0%	○ 95.5%	○ 95.4%	93.2%	<100%>	<100%>

目標2:「生きる力」を育み、個を伸ばす教育を実現する学校づくりを行います

＜目標の達成状況＞

○全国平均より高い ▼全国平均より低い

指標項目	出所	対象	基準値	H28	H29	H29 全国平均	中間目標値	目標値
			H27				H31	H34
「教職員研修講座に参加してよかった」と回答した教職員の割合	研修講座アンケート	教職員	72.3% ※H26	93.8%	94.3%		<75%>	<80%>
「学校に行くのは楽しいと思う」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	89.0%	○ 87.9%	○ 87.4%	86.3%	<90%>	<92%>
		中学3年生	84.4%	○ 85.4%	○ 81.9%	80.9%	<85%>	<87%>
「自分には、よいところがあると思う」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	75.4%	○ 77.5%	○ 78.8%	77.9%	<78%>	<80%>
		中学3年生	70.0%	○ 74.0%	○ 74.4%	70.7%	<73%>	<75%>
「特別支援教育について理解し、授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行った」と回答した学校の割合	全国学力・学習状況調査(学校)	小学校	100.0%	○ 100%	○ 100%	91.3%	<100%>	<100%>
		中学校	80.0%	○ 100%	○ 100%	90.9%	<100%>	<100%>

目標3:学校・家庭・地域の連携を強化し、子どもが地域社会で健やかに育つ環境づくりに努めます

＜目標の達成状況＞

○全国平均より高い ▼全国平均より低い

指標項目	出所	対象	基準値	H28	H29	H29 全国平均	中間目標値	目標値
			H27				H31	H34
近隣の小中学校との連携についてそれぞれ「行った」と回答した学校の割合 ①教育目標の共有 ②授業研究などの合同研修 ③教育課程に関する共通の取組 ※H29から3項目に変更	全国学力・学習状況調査 (学校)	小学校	66.7%	▼①46.7% ○②80.0% ○③80.0%	▼①66.7% ○②86.7% ○③73.3%	①58.1% ②65.6% ③51.3%	<80%>	<80%>
		中学校	60.0%	▼①60.0% ○②100% ○③100%	○①80.0% ○②100% ○③60.0%	①63.4% ②74.8% ③58.2%	<80%>	<80%>
学校支援ボランティア活動支援のべ回数	地域に根ざす学校応援団事業報告書	ボランティアのべ回数	4237回	4089回	3693回		<4300回>	<4400回>

目標4:安全・安心な環境で学べるよう、教育環境の整備、充実を図ります

＜目標の達成状況＞

○全国平均より高い ▼全国平均より低い

指標項目	出所	対象	基準値	H28	H29	H29 全国平均	中間目標値	目標値
			H27				H31	H34
「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	94.5%	○ 95.2%	▼ 94.3%	94.8%	<96%>	<98%>
		中学3年生	95.3%	○ 95.9%	○ 95.6%	94.7%	<96%>	<98%>
「人が困っているときは、進んで助けている」と回答した小学6年生と中学3年生の割合 ※H28からこの項目に変更	全国学力・学習状況調査	小学6年生	95.5%	○ 85.1%	○ 85.8%	84.3%	<96%>	<98%>
		中学3年生	94.8%	○ 85.8%	○ 88.2%	84.4%	<96%>	<98%>
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	96.8%	○ 97.2%	○ 96.6%	96.1%	<100%>	<100%>
		中学3年生	95.6%	○ 96.2%	○ 96.5%	92.8%	<100%>	<100%>
「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	95.7%	○ 94.8%	○ 94.4%	92.5%	<96%>	<98%>
		中学3年生	94.0%	○ 94.8%	○ 94.1%	91.9%	<96%>	<98%>

＜評価委員の評価＞

- ・全国平均を上回っていることはよいが、あと2・3割という原因を分析して、より高めてほしい。
- ・「学校に行くのは楽しいと思う」と回答する小学6年生や中学3年生の割合を伸ばすよう、引き続き尽くしてほしい。

＜今後の方向性＞

- 「主体的・対話的で深い学び」のある授業づくり
 - ・授業参観や校内研修、教職員研修をとおして、5人の指導主事が、直接授業改善について指導します。
- 放課後学習支援ボランティア活動の拡充
 - ・ボランティアの人数や放課後学習教室の回数等を増やして、児童生徒に確かな学力を定着させます。
- いじめを許さない集団の雰囲気醸成
 - ・人間関係づくりの課題と方策を明確にするとともに、いじめ見逃しゼロスクール運動に取り組みます。
- 将来への夢や目標を持たせる取組の充実
 - ・つばめキッズファーム事業やGood Job つばめ推進事業等をとおして、キャリア教育を推進します。
- 多くの項目で全国平均に達していますが、数値が下がっているものもあります。これからもより高いところを目指していきます。

Ⅳ 教育委員会の会議及び教育委員の主な活動状況

1 教育委員会の会議

○4月定例会教育委員会【平成 29 年4月 28 日（金）】

諸報告：（１）行事報告及び行事予定

（２）教育長報告

（３）寄附報告

報 告：報告第 4 号 共催・後援の教育長専決報告について

報告第 5 号 燕市保育園条例施行規則の一部改正について

報告第 6 号 燕市認定こども園条例施行規則の一部改正について

協議題：協議第 4 号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第 25 号 平成 29 年度燕市立幼稚園、こども園、小学校及び中学校における学校評議員の委嘱について

議案第 26 号 燕市教職員住宅管理規程の廃止について

議案第 27 号 平成 29 年度燕市立小学校及び中学校における非常かけつけ人の委嘱について

議案第 28 号 燕市図書館協議会委員の委嘱について

○5月定例会教育委員会【平成 29 年5月 23 日（火）】

諸報告：（１）行事報告及び行事予定

（２）教育長報告

報 告：報告第 7 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 5 号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第 29 号 燕市第2次学校教育基本計画検討委員会要綱の廃止について

議案第 30 号 燕市立小学校及び中学校における学校医等の委嘱について

議案第 31 号 燕市教員研修視察派遣要綱の一部改正について

議案第 32 号 燕市立小中学校における衛生管理者及び衛生推進者の任命について

議案第 33 号 燕市食物アレルギー対応委員会設置要綱の制定について

議案第 34 号 燕市食物アレルギー対応委員会委員の委嘱について

議案第 35 号 燕市学校支援地域本部地域コーディネーターの委嘱について

議案第 36 号 燕市子ども・子育て会議委員の委嘱について

議案第 37 号 燕市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱について

議案第 38 号 燕市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

その他：（１）「羽ばたけつばくろ応援事業 審査員」の推薦について

○6月定例会教育委員会【平成 29 年6月 29 日（木）】

諸報告：（１）行事報告及び行事予定

(2) 教育長報告

(3) 寄附報告

報 告：報告第 8 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 6 号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第 39 号 燕市西部学校給食センター調理配送等業務プロポーザル方式
業者選定委員の選任について

議案第 40 号 燕市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱について

議案第 41 号 燕市就学援助実施要綱の一部改正について

その他：(1) 平成 29 年度第 2 回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

1) 平成 28 年度燕市一般会計補正予算（第 9 号）の概要について

2) 平成 29 年度燕市一般会計補正予算（第 1 号）の概要について

3) 一般質問の概要

(2) 「燕市環境審議会」委員の推薦について

(3) 旧燕工業高校校舎棟第 3 棟（空手練習場他）整備事業について

○7月定例教育委員会【平成 29 年 7 月 28 日（金）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定

(2) 教育長報告

(3) 寄附報告

報 告：報告第 9 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 7 号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第 42 号 平成 30 年度小学校道德教科用図書の採択について

その他：(1) 燕市西部学校給食センター調理配送等業務委託について

○8月定例教育委員会【平成 29 年 8 月 21 日（月）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定

(2) 教育長報告

(3) 寄附報告

報 告：報告第 10 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 8 号 新規共催・後援申請について

その他：(1) 「平成 29 年度燕市教職員研修講座」高等学校訪問の日程について

○9月定例教育委員会【平成 29 年 9 月 28 日（木）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定

(2) 教育長報告

(3) 寄附報告

報 告：報告第 11 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 9 号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第 43 号 燕市学校支援地域本部地域コーディネーターの委嘱について

議案第 44 号 燕市生涯学習人材バンク事業実施要綱の一部改正について
その他：(1) 平成 29 年第 3 回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）
1) 平成 29 年度燕市一般会計補正予算（第 4 号）の概要について
2) 一般質問の概要
(2) 「平成 29 年度 全国学力・学習状況調査の結果」について

○10 月定例教育委員会【平成 29 年 10 月 27 日（金）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定
(2) 教育長報告
(3) 寄附報告

報 告：報告第 12 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 10 号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第 45 号 燕市学校給食費取扱規程の一部改正について

○11 月定例教育委員会【平成 29 年 11 月 27 日（月）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定
(2) 教育長報告
(3) 寄附報告

報 告：報告第 13 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 11 号 新規共催・後援申請について

○12 月定例教育委員会【平成 29 年 12 月 27 日（水）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定
(2) 教育長報告
(3) 寄附報告

報 告：報告第 14 号 共催・後援の教育長専決報告について

議 案：議案第 46 号 燕市公民館運営審議会委員の委嘱について

その他：(1) 平成 29 年第 4 回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）
1) 一般質問の概要
2) 分水小学校区における保育園整備事業説明会について
3) その他

○1 月定例教育委員会【平成 30 年 1 月 30 日（火）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定
(2) 教育長報告
(3) 寄附報告

報 告：報告第 1 号 共催・後援の教育長専決報告について

議 案：議案第 1 号 燕市就学援助実施要綱の一部改正について

議案第 2 号 燕市体育施設条例の一部を改正する条例の施行

期日を定める規則の制定について

議案第 3 号 燕市体育施設条例施行規則の一部改正について

議案第 4 号 新潟市立図書館と燕市立図書館の相互利用協定の締結について

その他：(1) 平成 29 年度燕市幼稚園・こども園修了式、保育園卒園式、小・中学校卒業式の日程及び出席者（案）について

(2) 平成 30 年第 1 回燕市議会臨時会（教育委員会関係抜粋）

1) 平成 29 年度燕市一般会計補正予算（第 9 号）の概要について

○2月定例会教育委員会【平成 30 年 2 月 20 日（火）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定

(2) 教育長報告

報 告：報告第 2 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 1 号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第 5 号 燕市学校給食運営委員会規程の一部改正について

議案第 6 号 燕市立図書館条例施行規則の一部改正について

議案第 7 号 燕市保育園整備事業者選定委員会設置要綱の一部改正について

その他：(1) 平成 30 年第 1 回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

1) 燕市学校給食センター条例の一部改正について

2) 平成 29 年度燕市一般会計補正予算（第 11 号）の概要について

○3月定例会教育委員会【平成 30 年 3 月 29 日（木）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定

(2) 教育長報告

(3) 寄附報告

報 告：報告第 3 号 共催・後援の教育長専決報告について

議 案：議案第 8 号 燕市教育行政評価委員の委嘱について

議案第 9 号 燕市立小学校及び中学校における学校医等の委嘱について

議案第 10 号 燕市立学校管理運営に関する規則の一部改正について

議案第 11 号 燕市立学校教職員安全衛生管理規則の一部改正について

議案第 12 号 燕市学校支援地域本部地域コーディネーターの委嘱について

議案第 13 号 燕市立小中学校における事務長および事務主任の任命について

その他：(1) 平成 30 年第 1 回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

1) 平成 29 年度燕市一般会計補正予算（第 12 号）の概要について

2) 一般質問の概要

(2) 平成 29 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の概要について

2 総合教育会議

○第1回総合教育会議【平成29年8月21日（月）】

- 議題：（1）燕市立幼稚園・保育園・こども園の現状について
（2）市長部局が行う若者向けの取り組みについて

○第2回総合教育会議【平成30年3月29日（木）】

- 議題：（1）子どもの貧困対策について

3 教育委員の視察

開催日	視察先	視察内容
平成29年 5月25日（木）	横浜市教育委員会	・ 特別支援教育の授業におけるタブレット端末の活用 ・ 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を契機とした取組 ・ 部活動外部指導者の派遣 ・ 放課後学び場事業
5月26日（金）	横浜市こども青少年局	・ 横浜市相談センター（センターの事業内容、ひきこもり支援等） ・ 保育コンシェルジュ
7月28日（金）	病児保育室「あおぞら」	病児・病後児の保育
	吉田児童センター 「笑来童（わらべ）」	児童センター活動
平成30年 2月20日（火）	東部学校給食センター	東部学校給食センター建設事業

4 教育関係会議への出席

- ・ 全県教育長会議（4/20（木）新潟県庁）
- ・ 新潟県都市教育長協議会春季定期総会（5/22（月）小千谷市）
- ・ 関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会（5/26（金）神奈川県大和市）
- ・ 新潟県市町村教育委員会連合会定期総会及び研修会（7/21（金）十日町市）
- ・ 新潟県都市教育長協議会秋季定期総会（10/17（火）加茂市）